

脳梗塞の新知識（軽症例にも慢性期にも対応）

岡田 埠（国立病院機構九州医療センター・臨床研究センター長）

○脳梗塞とは、動脈硬化（血管が詰まる）などが

原因で、脳の血流が止まり・その先の脳細胞が死に、その箇所の脳が働かなくなり・麻痺(しびれ)などの後遺症(後に残る障害)が残ります。

●脳梗塞になると、体の麻痺などが起ります。

が、最近・脳梗塞になつても、適切な治療とリビリ（テーション＝機能訓練）により、後遺症かる軽くすることができるようになりました。

★脳梗塞と言うと、後遺症で不自由な体になる
と思われ勝ちですが、今では軽症の人が増えて
自立した生活を取り戻せる事例が多くなつて
います。それは治療・リハビリの技術が進んで
います。(うなづく) じょうしきかき

■ いるからで、脳梗塞の常識が変わつて来ました
こうれいか
高齢化により、脳梗塞の患者数は増えています
かんじやすう
す。たとえ軽症でも、治療が遅れたり・再発を繰
けいしょう ちりょう おく
かえ
こうじょうおも
からだふ
じゅう

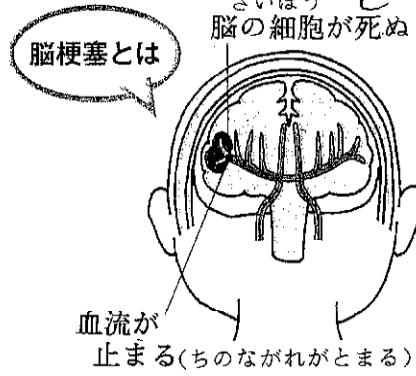
り返すと、後遺症も重くなり体が不自由になり
ます。発病予防と再発予防をシッカリと行い、
发病した時も適切に対処できるよう、脳梗塞に
ついて、下記のことを知つておきましょう。

2月、願成寺

のうこうそく
『脳梗塞』について

●脳の重さは、体重の約2.5
おもたいじゅう
名不なのに、心臓から出る血液
しんぞうで
の約20名不が脳へ流れる。脳
なが
は、血液中のブドウ糖と酸素を
けつえきとうさんそ
受け取り、エネルギー源にして
げん
働いている。が、脳の血管が詰
はたらかんづまると、脳の細胞は死にます。

■脳梗塞は、ストレスなどによる不整脈で、心臓内に生じた
血の塊が流れて脳動脈を詰め・脳細胞が死ぬために起こる。
高血圧は脳の動脈硬化を進め、血液ドロドロにする糖尿病・
脂質異常症(高脂血症)・脱水症・喫煙などの改善が必要です
水を飲み・脂身の肉を多食せず・肥満などに注意しましょう



(4) 後遺症が残つても仕事・趣味は続けられる?
勿論・続けられます。病気前と同じ事ができる
とは限らないが、その人らしい生活を回復させ
ることはできます。そのためにも家に閉じこもら
ず、リハビリのためにも外に出て行きましょう



(1) 脳梗塞になると『頭痛』が起りますか？
主な症状は『半身(体の片側)の痺れ』です。頭痛
が起る場合もあるが、脳梗塞の患者の約90%
に頭痛は起りません。主な症状は、半身麻痺、目
に視野の半分が見えないと言葉の障害など。
(2) 脳梗塞には予兆(前触れ)がありますか？
予兆があるとは限らないが、症状が一時的に現
れて消える・一過性脳虚血発作が起ることが
ある。症状が消えると安心し、軽症だと思い、そ
のままにすると、その後・高い確率で脳梗塞を
(3) 後遺症は、6ヶ月以後は善くならないの？
起こすので、受診しシッカリ治療しましょう。
今では、筋肉の緊張(硬くなる)を和らげるボツ
リヌス治療・磁気で脳を刺激するTMSにより
6ヶ月を過ぎても善くなる可能性があります。

A cartoon illustration of a young boy with dark hair and glasses, wearing a light-colored t-shirt. He is sitting at a desk, looking down at an open book he is holding in his hands.

チェック法がある